



枚方市
ひこぼしくん

HI-PER FILE
No.00000

1 ジャンル

中学校1年生

総合的な学習の時間

一斉学習・個別学習・協働学習

教員と児童生徒

2 概要



英語発表の様子

総合的な学習の
時間の様子



単元(題材)名

未来の企業はどんなSDGsをしているのだろうか?
(全10時間)

単元(題材)目標

- ① 企業とSDGsの関連について「SDGs目標12つくる責任・つかう責任」「エンカル消費」をキーワードにして学びを深める
- ② 各自が興味を持つ職種について、SDGsと関連付けながら調べ学習を進め、その企業が未来にどのようなSDGsができるのかを自分の考えとしてkeynoteでまとめる。

活用したICT機器、アプリケーション等

GoogleClassroom、Keynote、
インターネット検索

本時のめあて

自分が選んだ企業が抱えるSDGsの問題点はなにか調べよう

本時の展開の概要

前時までに、個人が決定した興味のある職業について、「現在実施しているSDGsの取組」を調べており、本時は「未来に何ができるのか?」という視点で、iPadで検索をしたり、班で意見交流をしたり、自分で想像したりし、将来の企業像を創造していく。また、調べた内容は、keynoteでの発表に備えて資料をまとめていく。また、同時期に進路指導で職業観について学びを進めるカリキュラム・マネジメントも実施した。



英語発表資料
Keynote

冬休みの課題
Keynote



ICT機器の活用でねらった効果

keynoteでの発表に備え、事前に冬休みにkeynote資料を作成する課題を出題したり、英語科が全員発表のパフォーマンス、keynoteによる自己紹介を授業に取り入れたりするなど、生徒の学びやkeynoteを取り扱う技能の習得をマネジメントした。本校の目標「自分自身の考えを持って、他者交流を通じて自分の考えを深める」を達成するため、一人ひとりがKeynoteで自分の考えをまとめ、発信することは生徒の資質・能力を育成するために効果的であると考えられる。また、支援が必要な生徒にとっては、紙ベースで資料をまとめるより作業しやすく、主体的に積極的に参加することができている。



児童生徒の様子(成果や課題)

生徒はKeynoteで資料を作成することにはすぐに慣れ、自分の考えや意見を写真や文字を使用して効果的に伝えようとし、意欲的に学習に望めた。アップルならではの直感性により、追加「+」と変更「✎」の使い方を指導するのみだったが、アニメーションなどの利用もできるようになった。複数教科で取り組むことで、生徒は力をより習得しやすい環境となっている。

第一中学校

名前: